

◇1251回、街歩き 東京タワー～東京スカイツリー

期日 2017年1月15日(日)

参加者 12名

コース 浜松町駅10:00ー東京タワー10:30ー愛宕神社ー日比谷公園、昼食ー東京駅ー日本橋、水天宮ー両国ー横綱公園ー東京スカイツリー16:00

埼玉県草加市に移り住んで早や30年近く、今東京はどんな変貌を遂げているのだろうか、今回の山行に参加した理由である。晴れてはいるが寒波の影響で北風が突き刺すように吹く中、最初の目的地、東京タワーに着く。増上寺の広大な寺有地に立つタワーは無数のリベットが打たれ表面を赤く塗られて、いかにも手作りといった感にあふれていた。「東京タワーに登った人？」11人が手を上げる。自慢じゃないが私は、山には登るが高いところには上らない。愛宕山には写真撮影のため一番で駆け上ったがここを馬で、とは曲垣平九郎、すごい。ちなみにここ愛宕山は東京23区の最高峰とのこと。この先は日比谷公園まで高層マンションが続く。参ったのは歩道橋、向こうに渡るのに人の歩く道がない。高く長い歩道橋を3つ、私は背をこごめ小走りに駆け抜けなければならなかった。「私、三井ビルにいたんですよ」「僕は帝国ホテルの隣のビルにいた。いつも飲んだ翌日は日比谷公園のベンチで寝てたなあ。」若いころを懐かしむご両人。日比谷公園の周辺から皇居にかけてはロードレーサー、ランナーがいつもは車でいっぱい広い道路を走っていた。東京駅では記念写真。「旗！旗！」と叫ぶリーダーに「ここは旗、要らないの、はた迷惑」にどっと沸く。相撲の幟がはためく両国を過ぎて横綱公園に入るとリーダー、「もう一時間で東京スカイツリーに着くけど復興記念館だけ見て行ってほしいんだ。」中に飾られていたのは関東大震災と東京大空襲の遺品と写真、絵画など、私も空襲で家を焼かれ疎開先でも焼夷弾の降るなか川に浸かって一晩過ごした経験がある。同世代のリーダーの気持ちはよくわかる。6時間かかって到着した東京スカイツリー周辺は旧「業平橋」の風情を一変、こうして東京は日々変わっていくんだな、と実感した。

(K 記)



増上寺前にて



東京タワー





愛宕山を登る



曲垣平九郎





東京駅にて



国技館前





東京都復興記念館（館内撮影禁止）





見えても遠い東京スカイツリー

